

学校長ごあいさつ

奈良県立奈良養護学校のホームページをご覧くださいありがとうございます。

本校は「肢体不自由児の養護学校を奈良県北部にも」という県民の願いに応え、昭和55年に開校し、令和6年5月には創立44年目を迎えました。世界遺産である平城京の南に位置し、西には薬師寺や唐招提寺の名刹を遠望する歴史の風情豊かな環境のもと、肢体不自由教育部門と病弱教育部門を有する肢病併置の特別支援学校です。

開校以降、病弱教育部門の移管や分校の閉鎖、訪問教育の拠点校の変更などを経て、現在は肢体不自由教育部門（通学・訪問教育）、病弱教育部門（施設内訪問教育）の2部門にわたり教育を行っています。

「よりよく生きていける力を育てる」を教育目標とし、校歌にも歌われるように「明朗」～明るく強い子、「自立」～自分でやり通せる子、「友愛」～助けあう心ゆたかな子、の校訓のもと、小学部に入学して高等部を卒業するまでの12年間の一貫教育を通して、卒業後を見据えた「地域で豊かに生活するための力」を育成するための取組を続けています。

近年、在籍する児童生徒の状況は多様化し、学習する形態も様々になってきました。また、先行きが不透明で将来の予測が困難な時代といわれ、変化のスピードが大変速くなっています。そんな中でも、教職員全体で将来を担う子ども達を育ていけるよう、社会状況をふまえながら、かつこれまで大切にしてきた「人と人とのつながり」をより一層、広め、深めていきながら、「よりよく生きていく力」を身につけた児童生徒をそれぞれの「社会」へ送り出していきたいと思っています。

「今日も楽しかった、また明日」と子ども達も教職員も笑顔で過ごすことができるよう、チーム奈良養護学校 教職員一同、がんばって参ります。

奈良県立奈良養護学校
校長 工藤 奈穂美

